

研究開発システムに関する問題意識について

農林水産技術会議事務局

平成 2 2 年 2 月 1 7 日

農林水産省

農林水産研究の特徴と課題

研究の特徴

- ◇ 農林水産研究は、食料の安定的供給や環境保全といった農林水産業の課題解決のための産業政策に密着した研究。
- ◇ 農林水産業は一次産業であり、現場の課題解決のためのイノベーションが重要。
- ◇ 担い手である農林漁業者は、零細で研究投資能力が乏しいため、国が果たすべき役割が大きい。

人材育成

- ◇ 農林水産研究においては、農林水産業の現場の課題解決のため、
 - ・ 幅広い専門分野で多様な人材を確保
 - ・ OJTによる人材育成
 - ・ 行政との積極的な交流のための環境整備などが不可欠。

研究開発評価

- ◇ 研究成果がいかに農林水産政策に貢献できたかの視点が重要。
- ◇ 農林水産研究の成果は、実用化されるまでに長い期間を要するものが多く、短期的な費用対効果だけでは評価は困難。

農林水産研究の今後の方向

1. 農林水産研究の重点目標(案)

1. 食料安定供給研究

- ① 農作物の自給力向上と安定供給
- ② 水産物の安定供給と持続可能な水産業の確立
- ③ 食の安全と消費者の信頼の確保

2. 地球規模環境変動対応研究

- ④ 地球温暖化への対応
- ⑤ 開発途上地域の農林水産業の技術向上

3. 新需要創出研究

- ⑥ 新需要創出に資する高品質な農林水産物・食品
- ⑦ 新分野への展開
- ⑧ 高度生産・流通システム

4. 地域資源活用研究

- ⑨ 農山漁村における豊かな環境形成と地域資源利用
- ⑩ 森林整備と林業・木材産業の持続的発展
- 地域ブランド化に向けた高品質な農林水産物・食品(再掲)

5. シーズ創出研究

- ⑪ 農林水産生物に飛躍的な機能向上をもたらすための生命現象の解明・基盤技術の確立

- ⑫ 遺伝資源・環境資源の収集・保存・情報化と活用

2. 研究開発力を強化するために必要な対応

技術革新を下支えする研究開発ツールの充実・強化

人材育成の強化、知的財産の創造及び保護、並びに研究資金制度の戦略的かつ適切な運用。

研究開発ツールの戦略的な投入マネジメントの強化

研究資源の戦略的な投入及び情報収集・分析機能の強化。

研究開発から普及・産業化までの一貫した支援の実施

産学官連携の促進や技術開発から実証試験までの切れ目のない支援、知的財産・研究成果の円滑な移転・橋渡しの強化。

国際研究の強化

開発途上地域支援のための研究協力とともに国際的課題についての国際共同研究、研究交流等をより一層促進。

行政部局との連携

研究開発の効果を高めるためには、研究開発部局と行政部局との連携の強化が必要。例えば、レギュラトリーサイエンスに関して、リスク管理部局と研究統括局の密接な連携の下、食品安全、動植物に係る施策・措置とその立案及び推進に活用できる試験研究等を一体的・計画的に推進。

国民理解の促進

技術の受け手であり、出資者である国民の理解を得るため、国民視点に立った情報提供や、国民との双方向コミュニケーションを確保。また、青少年について、科学技術に親しみ、学ぶ環境を提供。

評価システムの改善

研究開発の効果的・効率的な実施と国民への説明責任の遂行のため、研究開発評価を機能的かつ効果的に実施。